

VOL. **108**

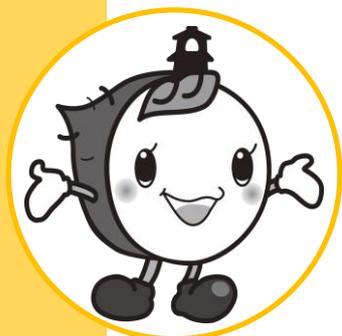
2022.12月号

青少年問題シリーズ

充実した冬休みに



ジャック・オー・ランタン、じょうずにできたよ！
～「自分だけのジャック・オー・ランタンを作ろう」
川越市青少年相談員協議会主催～



川越市少年指導センター

川越市役所 こども育成課内



じゅうじつ ふゆ やす 充実した冬休みに

もうすぐ楽しみにしている冬休みがやってきます。

冬休みは、大掃除と大晦日、お正月と初詣など、家族一緒に活動する機会が多くなります。我が家の年末・年始の過ごし方を工夫し、家族の絆を深めましょう。



(下のチェックリストに、できたものをチェック☑しましょう。)



冬休みの目標と計画を立て、実行しましょう！

二学期を振り返り、具体的な内容で、こつこつ着実に取り組みましょう。



心身ともに鍛え、健康な毎日を送りましょう！

- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を続けましょう。
- バランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。
- ゲームやスマホなど、親と相談しルールを決めましょう。
- 自転車などの交通事故や不審者に気をつけましょう。
- 外に出かけるときは防犯ブザーを携帯しよう。



すす 進んで学習に取り組みましょう！

- 毎日の学習時間を決め、「二学期の復習」や「冬休みの課題」、そして「自主学習」に取り組みましょう。
- 読書の習慣を身につけましょう。



かてい ちいき 家庭や地域でのふれあいを大切にしましょう！

- 家族の一員として、家事を分担し手伝いましょう。
- 家族で語り合う時間を大切にしましょう。
- 年末・年始の地域の伝統行事や文化に親しみましょう。



いじめについて親子で話し合いましょう！

人間がいちばんしてはいけないことは、他人の弱みを笑ったり、他人を差別したり、暴力を肯定することです。これらは「いじめ」にあたります。

最近のいじめは、「気に障ることを言った（した）」など、ささいなきっかけで始まり、あらゆる子どもがその対象となる可能性があります。



「いじめ」とは、『いじめを受けた子どもと一定の人間関係にある他の子どもが行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットも含む）で、いじめを受けた子どもが心身の苦痛を感じているもの。』をいいます。

いじめの態様で小・中・高とも最も多いのが、下表のように「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」です。

主ないじめの態様別状況	小学校	中学校	高等学校
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	50.6%	59.3%	59.6%
仲間はずれ、集団による無視をされる	9.2%	6.9%	10.3%
軽くぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	22.1%	10.6%	4.8%
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる	1.3%	8.0%	13.0%

【令和3年度埼玉県公立学校における児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果】より抜粋

- ① どうして「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が多いのでしょうか？言われた人の気持ちになって、親子で考えて見ましょう。
- ② 日頃の言葉遣いについて、どんな言葉が相手を不快にさせるのか親子で話し合ってみましょう。
- ③ いじめを「しない」「させない」「見逃さない」ために、私達ができることを親子で話し合ってみましょう。



◎ 友達とのトラブルに対して「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言う」などで、不満をぶつけるのではなく、相手の気持ちや心情を想像しながら、自分の思いや気持ちを伝える話し合いを大切にし、心の通う人間関係を築いていきたいですね。

～ 親子で一緒にお読みください ～

【言葉を大切に使おう！】

児童生徒の皆さんは、「うざい」「きもい」「むかつく」「死ね」などの言葉を使ったことがありますか？これらの言葉は相手の心を深く傷付けます。軽はずみで言うてしまうのであれば、『いじめている』自覚もなく、トラブルを最も大切な話し合いで解決することが難しくなります。では、なぜ無くならないのでしょうか？

平成30年に内閣府が実施した、「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」によると、『友人関係』では、日本の若者は「満足している」「どちらかと言えば満足」の合計が65.0%ですが、「該当する人はいない・わからない」と答えた若者が19.4%と、他の国（アメリカ8.6%）よりも多く、人とあまり関わらない若者の、人間関係の希薄化が感じられます。ここに「乱暴な言葉の存在」が、見え隠れしているように思われてなりません。

本来、子ども同士のトラブルは、話し合いによって解決することで人間関係が深まっていくものです。「うざい」「きもい」「むかつく」「死ね」などの言葉では、相手との関係性を拒絶し、人間性を否定することも、いじめにつながります。相手の気持ちや心情を察することもできず、一方的に自分の感情を押しつけるだけで、しこりが残ります。とても残念なことです。

このような人を傷つける言葉がなくならないのは、SNSなどコミュニケーションツールの影響もあると思われます。顔を見ず、かつ即座に返事ができるため、深く考えずに短い言葉で相手に伝えてしまい、相手の気持ちを考えながら会話するということが難しくなってしまいます。

小・中学生のいじめ態様別認知件数で最も多いのが、このような「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」です。これを解決するためには、児童生徒の皆さんが、普段から自分の発する言葉に注意を払い、相手を思いやり、いたわる気持ちをもって接することが必要です。それができれば、友人との良好な人間関係を築くことができ、いじめも減少するのではないのでしょうか。

児童生徒の皆さんには、相手を思いやり、いたわる気持ちを大切に、「話し合う」ことで人間関係は深まっていくことを知ってほしいのです。それは家族の会話にも当てはまります。(山)



せいしょうねん なや そうだん 青少年悩みごと相談

ふあん なとき こま
不安なとき・困ったとき

なや そうだん ひみつ まも
ひとりで悩まずご相談ください。秘密は守ります。

かわごえしやくしよ いくせいがない しょうねんしどう
川越市役所こども育成課内 「少年指導センター」へ

049-224-5724 (直通)

- ▶ 友達のこと、学校のこと、家族のこと、心や身体のこと…。
悩みごとや心配ごとのある方、保護者の皆様、お気軽にお電話ください。
相談時間 火・水・木曜日(祝・休日、年末年始を除く)
午前10時～午後5時(受付は午後4時30分まで)

- ▶ メール相談も受け付けています。

川越市 青少年悩みごと相談

検索



スマートフォンはこちらから